



こんにちは 豊前市議会です

No.90
平成27年11月

9月定例会(9/3～9/25)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2P
平成27年9月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～11P
トピックス・編集後記	12P

8月26～28日実施の 東松島震災復興体験学習の様子



8月26～28日、豊前市内の中学生18人が被災地である東松島市の震災復興現場を訪問し、体験学習を実施しました。

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

平成27年第5回定例会は、9月3日から9月25日までの23日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例5件、予算2件、決算10件、その他の案件2件の合わせて19議案が提出されました。それぞれ所管の常任委員会で審査し、いずれも原案どおり可決されました。

また、議員及び常任委員
会より条例3件、意見書案1
件が提案され、条例案のうち
「議員定数条例の一部改正」
については継続審査となりま
したが、その他2件は原案ど
おり可決されました。意見
書案に関しては委員会での修
正案が出され、修正可決とな
りました。

議員定数削減案(定数15→13へ) 継続審査に!!

9月議会最終日に、議員定数を15人から13人に削減する条例改正案が議員提案され、提出議員から「市の財政状況は悪化しており、市に財政健全化等を求める以上、議員自らその範を見せるべき」との説明がありました。

付託された総務委員会では「市の人口は年々減少し、財政状況を見ても当然減らすべき」や「4年前に17人を15人に削減したばかりで、15人が適当」といった意見が出ましたが、「他自治体の状況も精査し、慎重に審査すべき」との意見から、最終的には継続審査となりました。

住民の納得できる予算執行が
なされたか?

平成26年度の 一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、「予算決算委員会」で一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月17～18日の2日間にわたり開催し、平成26年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では市側に対して多くの質問や指摘がなされましたが、主な指摘事項は次のとおりです。

決算審査における主な指摘事項

◎事業内容が重複しているものについて

庁内全般の事業を仕分けし、やめるべき事業・続ける事業を十分精査し、事業の統廃合を考えるとなどを申し入れました。

◎国際交流事業について

事業目標をしっかり定め、民間活力を十分に取り入れ実施することを申し入れました。

◎次年度の予算編成について

主要施策の成果等を各所属員に周知徹底し、事業検証をしっかり行い、次年度の予算に反映させることを申し入れました。

◎各種団体に対する補助金について

文化財保存団体をはじめ補助金を出している団体については、実態を調査し、審査することを申し入れました。

◎公共施設の使用料について

公共施設の使用料に関して、周辺自治体の使用料を参考に見直しを検討し、収入確保につなげるよう申し入れました。

その他、予算の無駄使いにならないよう様々な指摘をしました。

平成27年9月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江哲文	平田精一	安江千賀夫	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	尾澤満治	山崎廣美	爪丸裕和	宮田精一	磯永優二	渡邊一	秋成茂信	賛成	反対	
議案第48号	豊前市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	11	1	
議案第49号	豊前市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第50号	豊前市職員退職手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第51号	豊前市手数料条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第52号	豊前市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第53号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第54号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第55号	平成27年度豊前市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第56号	平成27年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0	
議案第57号	平成26年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	11	1
議案第58号	平成26年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	11	1
議案第59号	平成26年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	11	1
議案第60号	平成26年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	11	1
議案第61号	平成26年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第62号	平成26年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第63号	平成26年度豊前市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第64号	平成26年度豊前市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	認定・原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第66号	平成26年度豊前市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第67号	平成26年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第68号	豊前市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第69号	豊前市議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
意見書案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)の提出について	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第70号	豊前市議会議員の定数条例の一部改正について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0

議案第70号については、「継続審査」に対する賛否を問いました。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文

【質問項目】

- ① 市民協働のまちづくりと行政業務の連携
- ② 豊前市の「公共経営」
- ③ エコ対策
- ④ 公民館を中心とした地域活動
- ⑤ 観光問題
- ⑥ 高齢者社会

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

予算と事業のバランスを考えた計画を

黒江議員 地方創生の取り組みについて大枠の方向性、人口分析の結果を伺いたい。

総合政策課長 基本方針として3つの方向性を出している。1つ目は観光振興による交流人口の獲得、2つ目は子育て環境の整備、3つ目は一次産業の振興である。人口については合計特殊出生率、移動率などを加味した推計で、2060年に1万9027名となる予定だ。

黒江議員 将来、人口が減ることによって税収が減り、財源が厳しくなる。その結果理想の行政サービスができなくなる。このようなことにならないよう、予算と事業のバランスを考えた計画をしていくべきではないかと思う。税収がいくらで、新規事業など自由に使える予算はいくらあるのか伺いたい。

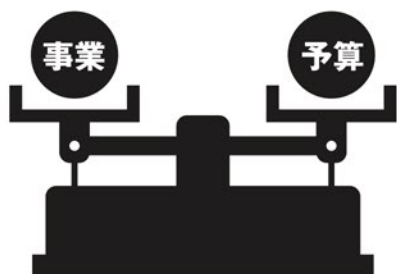
副市長 現在税収は約31億円であり、新規事業など自由に使えるのは約3億円であると認識している。

黒江議員 今後、地方創生の事業も予算がかかる。また、水産事業をはじめ他の事業でも、追加で補正予算を組んでいる。その結果、積み立てを切り崩したとのことである。民間事業主の私には理解できない部分がある。民間では、使える予算内で事業の投資をする。それをオーバーすると赤字である。積み立ては、会社の規模に見合う貯蓄が必要である。貯蓄を使わないよう経営していくべきだと思う。将来の歳入を計算し、そこから逆算して貯蓄や事業の試算をするべきだと思うが、副市長の考えを伺いたい。

副市長 指摘のとおり歳入を考え、その結果、歳出を考えるべきであると思

う。それ以上の事業を行うときには当然借金となり、積み立てなどの予備費から使っていくことになるが、積み立ては極力使わない方針で当初事業計画を立てて運営していくべきだと思う。

黒江議員 予算内で事業をしっかりと組んでやっつけられないと、大変なことになるのではないかと心配である。民間の経営感覚を取り入れ、予算と事業のバランス、また費用対効果をしっかりと考え豊前市の発展に全力で努めていただきたい。



上下水道事業の 抜本的な見直しを

に取り組むよう早急に進めているところである。

鈴木議員 今でも豊前市の水道料金は高いと思われるが、伊良原ダムの水を引き受けるとさらに高くなると予想される。住みやすいと言われている豊前市であるが、水道の問題で住みにくいということになると非常に問題である。今後の努力について市長に伺いたい。

市長 上下水道事業はぜひぶん歴史がある。当時と比べ、地方創生の中で人口減はとどまらないという流れが見えてきた。想定外のギャップをどう埋めるのかというのが、緊急の大きな課題である。その努力は惜しまずやっ

ていく。抜本的に見直ししていくところは、勇気を持って見直していく考えである。

鈴木議員 下水道経営については、逆立ちしても赤字にはならないという状況である。後世に大きな負の遺産を残さないよう、今計画の見直しをするべきである。副市長の考えを伺いたい。

副市長 将来人口などを踏まえ、事業の縮小を検討している。三毛門地域まで引いた後は取りやめ、農業集落排水についてはつなぎ込みをしていく。その後は合併浄化槽の推進をおこなっていききたいという考えである。

鈴木議員 豊前市では毎年、水道会計に約6千万円、下水道会計に約3億円もの金額を一般会計から補助している。上水道については伊良原ダム完成後、責任水量の増加に伴う受水費により、さらに経営が厳しさを増し、一般会計に大きな負担が予想される。これは広域圏構想の中心に豊前市を考えた、甘い取水計画にほかならない。そこで、今後の事業計画についてお聞きしたい。

上下水道課長 持続可能な水道事業の経営に向け、伊良原ダム完成の平成30年までに、抜本的な計画



上水道の工事現場の様子

資源循環型社会の 構築を目指して

平田議員 北九州市では家庭から出る廃油の回収ボックスをスーパー等に設置し、ディーゼルエンジンの燃料などにリサイクルしている。豊前市の廃油の回収について現状を伺いたい。

生活環境課長 障害者地域生活支援センター「すずの家」が、年間15キロリットルを家庭から出る廃油として収集し、ディーゼルエンジンの燃料として7・7キロを処理していると聞いている。

平田議員 回収がなかなか難しいようだが、北九州市のような回収方法を考えるはないか伺いたい。

生活環境課長 回収方法については、地域の方、主婦の方たちと協議し、良い方法を考えていきたい。

平田議員 北九州市のエコタウン内で、衣類をリサイクルし、車の防音材など

に加工する事業を始めたようだ。豊前市では衣類の回収はどのようにしているのか伺いたい。

生活環境課長 資源ごみとして回収し、民間業者に売却している。用途としては、油を吸収する材料や固形燃料の材料にするなど聞いている。今後はそのような業者にも販路の拡大を検討していきたい。

平田議員 ごみ焼却場の直接搬入の中で、樹木の割合が非常に多く、年間約1,035トンも

あるようだ。中山間地域に育った私からすると、ごみなのかなという感覚である。葉は腐葉土となり、木はエネルギー源となる。いろいろな利用方法があるのではないかと、副市長の考えを伺いたい。

副市長 一般の区長会で樹木についてはチップ、あるいはいろいろなものに使えないか。また生ごみは堆肥とならないかというところで提案している。市民の協力を得るため、分別を一緒にやろうという気持ちづくりを来年一年かけてやっていこうと、区長会、また内部で検討をしている。

平田議員 素晴らしい提案であると思う。ぜひ前向きにお願いしたい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『同志会』の一般質問



渡邊 一



爪丸 裕和



福井 昌文

【質問項目】

- ① し尿処理場
- ② 教育問題
- ③ 観光事業
- ④ 管理職
- ⑤ 防災・防犯
- ⑥ 国保の医療カード
- ⑦ 企業誘致
- ⑧ 住民サービスの向上
- ⑨ 旧築上中部高校の跡地
- ⑩ 市民会館の建替え

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご覧ください。

管理職の範囲を明確に

福井議員 豊前市では課長補佐全員に管理職手当を支給しているが、「管理職員等の範囲を定める規則」では、総務課長補佐と財務課長補佐のみが規定されている。規定外の課長補佐に管理職手当を支給することは、矛盾があると思うが、どのように考えているか伺いたい。

総務課長 3月議会でも指摘を受けたが、「管理職員等の範囲を定める規則」は職員団体の組織を構成する職員の条件を定めたものであり、管理職手当の支給対象範囲と関係係はあるが、一致するものではない。大変分りにくいものとなっているので、市民目線で分りやすい考え方で、不自信を持たれないように見直し作業をしているところである。

部が労働組合に加入しているというのも非常に矛盾がある。また、「職員の勤務評定に関する規則」に、「所属長に事故のあるとき又は適当でない場合は、課長補佐若しくは、次長を評定者とする事ができる」とあるが、管理職として規定されていないものが勤務評定をおこなうことについても矛盾があるのではないか。

この問題については、副市長が議員のときにも問われたが、副市長の考えを伺いたい。

副市長 この制度は平成19年度に公平委員会に諮問をおこない決定をいただいた事項である。指摘のとおりいろいろ問題がある。再度、公平委員会に諮問をし、見直しをしていただく、そのような考えで臨みたい。

福井議員 このような矛盾点は早急に改善すべきであると思う。市長が掲げた4月からの機構改革が生きるよう、迅速な対応をお願いする。

福井議員 課長補佐の一



し尿処理施設の 問題を早急に

渡邊議員 し尿処理施設の建替えの計画について、現状を伺いたい。

市長 し尿処理をしている環境施設組合、これは豊前市、築上町、みやこ町の一市二町で構成している。19年が経過し老朽化のため、3年前に長寿命化の方向に一旦決まった。しかし構成団体の変更があるということ、2年間猶予をもらっている。今、これをどうするか最終決定をするところである。築上町がしている液肥化というやり方も研究をしているところである。

渡邊議員 この地域で液肥をするのは、時期尚早であると思う。私が一番心配しているのは、もたもたしていると国、県の補助率が下がるのではないかとということである。

同時に、築上町が外れ、構成が変わる方向にある。吉富町と上毛町は吉富の施設で処理をしているが、そちらも改修時期がきているので、構成団体として一緒になれば、市民の負担が軽くなり、この地域のために大きなプラスとなる。この点についての考えを伺いたい。

市長 環境施設組合議会から強い要望があり、吉富町、上毛町に参加を呼びかけているが、内部の事情があり、まだ整理が

つかないという状況である。

渡邊議員 市長が両町長と話をすればまとまるのではないかと。市長だけが話に行かないと耳にするがどうなのか。

市長 両町長とは別の機会にも、よく話はしており意思の疎通は図っているところである。

渡邊議員 早急に問題を解決しないと、とりかえしがつかない事になると思う。最後に市長の覚悟を伺いたい。

市長 市民の共感を得るように、また支持をいただけるように、どのような方向が良いのかしっかりと研究し、結論を出していきたい。



豊前広域環境施設組合

今の位置に 市民会館の建替えを

爪丸議員 市民会館の建替えについて、方向性が決まったのか伺いたい。

生涯学習課長 市民会館は51年が経過し、老朽化の進行と共に施設機能、設備の旧式化、バリアフリー未対応など、利用者に不便をきたしているところも多くある。建替えるの市民ニーズはとても高く、企画調整会議においても長寿命化を図るのではなく、建替えという方針でいきたいという考えである。

爪丸議員 どこに建設するのか、予算の規模、補助事業が確保できるのか、お尋ねしたい。

生涯学習課長 今後、建替えの基本計画等策定に着手し、具体的な検討を進めていきたいと考えている。まずは建設規模、場所等含めて検討委員会を立ち上げ、議論を進め

ていきたいと考えている。

爪丸議員 文化施設という位置づけだけではなく、中心市街地の集客施設のひとつとして、地域活性化のためにも今の位置を確保していただきたいと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 どのような事業に当てはめて負担を少なくできるか、どこにどのような形でどういう施設を、

機能を持ったものにするのか。提案をいただいた件も含め、早急に検討委員会を立ち上げていきたい。

爪丸議員 いつまでに完成させるか、期限を引いていただきたい。

副市長 実行委員会を12月までに立ち上げ、来年3月までに方向性を出したいと考えている。

爪丸議員 住民ニーズも非常に高いということは、十分承知のことと思うので、市民にしっかりと方向性を示すべきと考えます。その点を踏まえ、しっかりと進めていただきたい。



豊前市市民会館

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『豊翔会』の一般質問



安江 千賀夫



岡本 清靖



尾澤 満治

【質問項目】

- ① 観光振興
- ② 豊前市公共施設等総合管理計画
- ③ 安心・安全な街づくり

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご覧ください。

観光振興のため 衛生環境改善を

岡本議員 豊前市には観光資源が豊富にあるが有効に活用されていないように感じる。特にトイレ等の整備が遅れていると思う。求菩提のお田植祭には遠方から大勢の観光客が来るが、中宮にはお田植祭保存会が設置したトイレがなく、なかなか行けないような状況だ。もっとトイレが必要と思うが執行部の考えを伺いたい。

園内なので設置が可能か不明だが、トイレ設置に関して、執行部の考えを伺いたい。

まちづくり課長 犬ヶ岳については登山道入口にトイレがあるだけで、途中にはトイレがない。市としても、自然遊歩道沿いにトイレが一つあると休憩もでき便利であると考えているが、国定公園内であるため条件的に厳しいところもある。現在、

県の担当課に問い合わせ

中で、回答待ちの状況である。
岡本議員 また、求菩提キャンプ場や犬ヶ岳登山道入口、求菩提駐車場のトイレは昔ながらの汲み取り式で、蚊や虫等が多く衛生的に良くないように感じるが、執行部の考えを伺いたい。

まちづくり課長 この周辺のトイレは、汲み取り式以外は難しいところとなっている。しかし、キャンプ場のトイレについては指定管理者とも協議し、浄化槽への改修を検討しているところだ。

岡本議員 市の観光振興を図るうえで衛生環境の整備は重要と考える。早期改修をお願いしたい。

岡本議員 犬ヶ岳の自然遊歩道については、トイレがないため一度上がれば降りてくるまでできないような状況だ。国定公



求菩提キャンプ場のトイレ

公共施設の 計画的な改修・更新を

安江議員 仮に売るとしても経営状況が赤字の施設を売るのは難しいと考える。やはり単年度収支で黒字を計上しないと買手が付かないと思うが、執行部の考えをお聞きたい。

財務課長 当然、黒字を出して行かないと指定管理を受けるところもないので、経費削減・サービス向上などを担当課に指示したい。

安江議員 次に、この計画によると、今後40年間で改修・更新費用に約1500億円、年平均で約37・5億円が必要と出ている。外部に任せるのではなく、市の技術職員

を集め営繕等を自前ですることで管理費用の圧縮が図れると思うが、執行部の考えをお聞きたい。

副市長 議員提言のとおり公共施設の管理・営繕は職員による自前が最善の方法ではあるが、いろいろな問題を抱えている。現在、その点を踏まえて事務改善委員会で議論している途中だ。

安江議員 この約37・5億円という数字は市の予算の1/3程度になる。当然このような額を毎年出せないと思うので、執行部はこの計画を踏まえて豊前市をより良い方向に導いていただきたい。

安江議員 公共施設等総合管理計画に「ト仙の郷」や「天狗の湯」などの市内6施設が産業系施設として掲載されている。これらの施設に関して、計画書では管理運営の見直しや売却も含めて検討するとあるが、仮に売却するとした場合の方針をお尋ねしたい。

財務課長 売却時の方針としては、基本的には土地・建物の鑑定評価を出し、審議会等にかけて価格を決定する手順となっている。



高速道路を活用した 観光振興を

尾澤議員 東九州自動車道については、あと豊前〜椎田南〜C間のみが残っている状況で、全線開通を待ち望んでいるが、現在の進捗状況をお尋ねしたい。

建設課長 ネクスコによると、行政代執行後、平成28年春の開通を目指し最大限の努力をしているとのことである。

尾澤議員 そこで開通後のパーキングエリアの使用に関して提案がある。先日、宮崎県川南町の軽トラ市を視察してきた。当地では月に一度軽トラ市が開催されており、2000円の出店料を払えば誰でも出店できる簡単なルールのため、商店街に約150台の車が並んでいた。今では観光バスが来るようになり、毎月多くの来場者とのこと。軽トラのため出店や撤収が

簡単に行なえるようなので、上毛・行橋のパーキングでの開催を企画してほしいと思うがいかがか。

まちづくり課長 議員提案のパーキングエリアでの軽トラ市の開催については、駐車スペースの問題で厳しいようだ。ただ、今後パーキングエリアに建物等が出来れば、その内部や周辺での特産品・農産物の販売をネクスコと協議しているところだ。

尾澤議員 次に、ネクスコが実施しているドライブパスという事業がある。

この事業は、発着エリアから周遊エリアまでの1往復と周遊エリア内の高速の走行が定額で最大3日間利用できるというものだ。北九州〜中津までを周遊エリアに設定し、豊前の国を観光してもらってはと思うがいかがか。

まちづくり課長 ネクスコによると、この事業は県を通じての申請となり、宿泊施設や交通量など細かい要件があるとのこと。豊前周辺が周遊エリアになるのか、今後研究したい。

尾澤議員 大分・宮崎では既にドライブパスを実施している。豊前も高速開通後、通過点にならないよう積極的な対応をお願いしたい。



宮崎県川南町の軽トラ市の様子

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『新世豊友会』の一般質問



秋成 茂信



磯永 優二



鎌田 晃二



山崎 廣美

【質問項目】

- ① 液肥
- ② 水産振興施設
- ③ 空き家対策
- ④ がん対策
- ⑤ 広域行政
- ⑥ 市民サービスと職員の意識改革

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

液肥が必要な議論し、農業振興を

山崎議員 液肥の実証田の実施の経緯についてお尋ねしたい。

農林水産課長 市内の農家1軒から使用したいと申出があった。市としては、ただ撒くだけでは効果等の把握が出来ないとの観点から、豊前市農業産地育成協議会等に相談し、JA福岡京築の豊前アグリセンター及び京築農業普及改良センターとの協議の中で、協力して実証田を実施することになった。

山崎議員 循環型低コストの液肥実証ほ場を横武に設置しているが、結果をお尋ねしたい。

農林水産課長 通常の化学肥料を使った3耕区に比べ、収量対比で87.3%であった。

山崎議員 実証田の液肥散布に市職員を多数使っているが、行政ではなく

産地育成協議会の部会が主体となって実施しなければ意味がないと思うがいかがか。

農林水産課長 将来の循環型農業の検討課題に関して、データ等の収集に有効であると考ええる。

市長 市職員が情報を共有するための学びの時間であり、単に労働力を提供したのではない。

山崎議員 タンクローリー等機械の購入等の経費の試算の説明、近隣地との環境問題、誰が散布

するのか等、液肥にはいろいろ課題があるが、考えを伺いたい。

市長 良い方向を目指すなら行政が出来ることはする。農業にこれからのような支援策が必要かを考えると、隣町で成功している液肥も一つの手立てと考える。

山崎議員 液肥が本当に低コストで収益性が高いか疑問だ。また、環境問題もクリアしないと散布できないのではと思う。まだ鉄粉の直播の方が経費節減につながると思うので、是非検討してほしい。部会、営農組合の代表者等を巻き込み各地区の農家の意見を聞き、非常に厳しい農業情勢に立ち向かってほしい。



実証田への液肥散布の様子

皆で知恵を出し、水産振興に

していくが、補助事業の趣旨、また地元の水産物を3分の2以上使っていくという観点から、漁協以外難しいと考える。

山崎議員 地元豊前海で3分の2以上の水産物の確保ができるのか。また、近隣の漁協にも協力の要請をしたのかお尋ねしたい。

農林水産課長 椎田支所、八田支所、吉富漁協、行橋漁協にはお願いに回った。残りの所には近日中にお願ひに行きたいと考えている。

山崎議員 協力体制のもと運営・管理、販売計画を立てていると思うが、失敗しないためにも今一度豊前海一円の協力体制

を取ってもらいたいと思う。なお、収支計画の中の人件費が高すぎると思うが、執行部の考えを伺いたい。

農林水産課長 給与額等については、漁協と協議して設定した。

山崎議員 最初から高い給与を出すのではなく、頑張った利益が出たらボーナスを支給する方がいいと思うがいかがか。

市長 人材次第で拘束時間などもあるが、売上を上げたら報われるような体制を取っていきたい。

山崎議員 上から押し付けるのではなく、皆で一緒にいろんな事業を盛り上げて頑張っていたきたい。



8月22日開催のうのしま港マルシェの様子

危険家屋の

早急な撤去を

鎌田議員 本市は、危険家屋の解体費用の助成や、議員提案により撤去後の

成の検討や金融機関の利用に関する説明の時期に来ていていると思う。

土地に対する固定資産税を10年間減免する条例を制定したところ、撤去に関する相談件数が2011年度の9件から昨年度は43件と急増した。また、総合政策課に不動産の専門知識を持つ空き家バンク担当の嘱託職員を置き

兼ねたところ、市外から41世帯87人が移住するようになった。また、他市町村から先進的事例として視察に訪れている。そこで、空き家バンクの現状と課題について伺いたい。

総合政策課長 現在、賃貸・売買を含めて80件の契約をしている。以前は登録すればそのまま使える空き家も多かったが、今後は、改修に対する助

鎌田議員 一度契約したまま撤去された家賃を戻してもらえない等のトラブルはないのか。その解消のため、2000年に特別措置法ができた定期借家権が導入されたが、契約している中で何件利用しているか伺いたい。

鎌田議員 空き家対策は市民相談の中でも多いので、知恵を絞り危険家屋の撤去ができるよう頑張っていたきたい。

「空き家対策特別措置法」とは？

「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が平成27年5月26日に施行され、これまで登記だけでは特定できなかった空き家の所有者を、固定資産税の納税記録を用いて特定できるようになりました。

また、倒壊の恐れがある空き家を「特定空き家」と認定し、撤去や修繕を勧告・命令できるようになりました。勧告を受けると6分の1などに軽減されていた土地の固定資産税の優遇を受けられなくなります。

の推進に関する特別措置法が施行され、運用次第では危険家屋の撤去に大きくつながると思う。また、空き家再生等推進事業は、空き家等対策計画に基づいて撤去すると国から助成があるようだが、早急に計画を作成してはいかがか。

副市長 国の良い施策を利用するためにも組織づくりを早急にすべきだと思う。また、既存の解体費用の助成、税制の優遇措置等と検討を重ね、豊前にとって最善の道を探りたい。

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

● 議会を傍聴しましょう

● 印刷 築上印刷有限公司

● 編集 編集委員会

委員長 尾澤満治

副委員長

安江千賀夫

委員 黒江哲文

平田精一

鈴木正博

他市町議会からの視察研修受入れ報告

豊前市議会では、他市町議会から視察研修の申込みが多数あります。

豊前市の事例を勉強していただき、それぞれの自治体で活用してもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。

平成26、27年度の受入れ状況は以下のとおりです。

視察研修受入れ状況

来庁の市・町議会	日程	視察研修内容
北海道釧路市議会	H26. 5.14	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
宮城県山元町議会	H26. 7.14	道の駅「豊前おこしかけ」
埼玉県上尾市議会	H26. 7.16	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
東京都板橋区議会	H26. 8. 5	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
兵庫県宝塚市議会	H26. 8.28	BDF事業の取組（すすの家）
大阪府高石市議会	H26.11.12	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
宮城県東松島市議会	H27. 1.13	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
鹿児島県徳之島町議会	H27. 1.28	道の駅「豊前おこしかけ」
岩手県釜石市議会	H27. 5.29	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
岡垣町議会	H27. 8.20	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
長崎県長崎市議会	H27. 8.26	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）
行橋市議会	H27.10. 1	空き家対策（老朽危険家屋除去、空き家バンク等）



写真は東松島市議会の視察研修の様子

広域行政セミナーに参加

10月8日、ホテル・レガロ福岡において「九州の自立を考える会」（会長：藏内勇夫福岡県議会議員）主催の広域行政セミナーが開催され、議長及び議員が参加しました。

当日は、公益財団法人大阪観光局理事長の溝畑宏氏を講師に「観光立国と地方創生で九州を元気に」と題した講演があり、九州各県より集まった県議、市議等が熱心に聞き入っていました。

「九州の自立を考える会」は、九州の自立・発展を目的として新しい公共政策課題研究に政財界で取り組み、また将来の道州制も視野に入れた研究を目的に設立された会です。



編集後記

今年の夏は台風の接近、上陸が多く、また火山活動も各地で活発化しています。茨城県常総市の河川氾濫による大水害は記憶に新しいと思います。これは他人事ではなく、一人ひとりが防災に対する意識をしっかりと持つことの大切さを改めて痛感しました。

国会では安保法案が強行採決されたり、マイナンバー制の施行が始まったりと騒がしい夏でしたが、多くの若者が政治に関心を持ってくれたと思います。

さて、豊前市議会でも経常収支比率が悪化しているため、財政健全化・行財政改革を市執行部に求め、また人口減少が止まらない以上、議員自ら議員定数を削減することを提案しました。継続審査になっていますが、議員一人ひとりが自ら研鑽に励みさえすれば十分に市民の付託・信頼に応えられると思います。

平田 精一

次回の定例市議会は
12月です